
第 79 回数理社会学会大会 (JAMS79) プログラム

日時：2025 年 8 月 28 日（木）～8 月 29 日（金）

会場：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス

大会委員長：渡邊 勉（関西学院大学）

開催校・後援：関西学院大学

1 参加費：

一般（会員）	4,000 円	学生・院生（会員）	1,000 円
一般（非会員）	7,000 円	学生・院生（非会員）	3,000 円

2 懇親会費：

一般（会員・非会員）	8,000 円	学生・院生（会員・非会員）	4,000 円
------------	---------	---------------	---------

3 主なスケジュール

時間			
8 月 27 日	13:00～15:00	編集委員会	研究活動委員会
	15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	
	17:00～19:00	理事会	
8 月 28 日	9:30～11:10	自由報告 I (第 1 部会)	自由報告 II (第 2 部会)
	11:20～13:00	萌芽的セッション I	
	13:00～14:00	昼食休憩	
	14:00～15:40	萌芽的セッション II	
	15:50～16:50	会長講演	
	17:00～18:00	総会	
	18:15～20:15	懇親会	
8 月 29 日	9:00～10:40	自由報告 III (第 3 部会)	萌芽的セッション III
	10:50～12:30	萌芽的セッション IV	
	12:30～13:30	昼食休憩	
	13:30～15:10	自由報告 IV (第 4 部会)	自由報告 V (第 5 部会)

4 主な会場（社 201 教室）

- ・ 受付：ラーニングコモンズ内
- ・ 会員控室・抜き刷り交換コーナー：社 203 教室

5 口頭報告者へのお願い（自由報告）

- ・ 部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- ・ 会場設置パソコンを利用できます（Windows11、Office365）。
- ・ ソフトウェア動作環境にご不安がある場合、また Mac をご使用なさりたい場合、プレゼンテーション用ソフトウェア等がインストールされたご自身のパソコンと接続コード（HDMI 端子用）をご持参ください。HDMI 端子に接続し、スライド等を投影することができます。
- ・ プrezentation用データは USB メモリに保存し、当日持参してください。
- ・ 配布資料は、報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- ・ （司会者の方々へ）部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴、15 分 2 鈴、25 分 3 鈴を鳴らします。

6 ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

- ・ 1 日目の萌芽的セッション Iで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 1 日目の萌芽的セッション IIで報告される方はポスターを昼食休憩中（13:00～14:00）になるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。セッション後 5 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 2 日目の萌芽的セッション IIIで報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 2 日目の萌芽的セッション IVで報告される方はポスターを小休憩中（10:40～10:50）に貼りつけていただき、セッション終了後に取り外しください。セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・ 最大で A0（縦 1189×横 841mm）のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ ポスターの貼りつけには画鋲あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です。
- ・ 部会開始 5 分前に集合してください。

7 問い合わせ先

研究事務局 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学 社会学部社会学科 長松奈美江

E-mail: jams.research[at]gmail.com

nagamatsu[at]kwansei.ac.jp

大会開催校 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院大学 社会学部社会学科 渡邊勉

8月27日（水）

13:00～15:00	編集委員会	第1教授研究館本館	第1会議室
13:00～15:00	研究活動委員会	第1教授研究館本館	第2会議室
15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー	社202教室	
17:00～19:00	理事会	第1教授研究館本館	第1会議室

8月28日（木）

09:00	開場	
09:20	開会挨拶 大会委員長 渡邊勉	社201教室
09:30～11:10	自由報告I・自由報告II	
【第1部会】	数理・方法論	社201教室

司会 関口卓也（理化学研究所）

1	Satisficing理論を踏まえたトラップ質問設置の問題 —概念的整理と実証分析—	○森坂太一（東北大学大学院／日本学術振興会）・西尾知耀（東北大学大学院／日本学術振興会）
2	自分の後に続く人数は協力率に影響を与えるのか? —ベイズ統計モデルの構築と実験による実証からの検討—	○三木毬菜（日本学術振興会／関西学院大学）・清水裕士（関西学院大学）
3	Who Do Authorities Target in Social Networks? A Structural Network Analysis of the Forced Migration of Indigenous Tribes in Taiwan under Japanese rule, 1931-1944	Yen-Sheng Chiang (Institute of Sociology, Academia Sinica, Taiwan)

【第2部会】 家族・パートナーシップ

社202教室

司会 村上あかね（桃山学院大学）

1	The Weight of Gendered Expectation: Pre-birth Endorsement of Intensive Mothering Ideology and the Motherhood Penalty	○麦山亮太（学習院大学）、那須蘭太郎（東京大学大学院）・森川ゆり子（東京大学）
2	恋人にはなれるが、結婚相手にはなれない —日本人の交際・結婚におけるエスニシティ選好の分析—	Aichholzer Stefan (大阪大学大学院)
3	貧困によってパートナー形成に不平等があるのか： シングル、恋愛、同棲、結婚の系列分析	○小林盾（成蹊大学）・Yuqi Liang (University of Oxford)

＊＊＊＊休憩（10分）＊＊＊＊

11:20～13:00 萌芽的セッションI

【萌芽的セッションI】

H号館 1F
ラーニングコモンズ

1	統計的因果探索によるウィスコンシン・モデルの検証	増井恵理子（滋賀大学 データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター）
2	ただ乗りを寛容する地域水コミュニティを考える	三隅一人（九州大学）
3	インドネシア海外移動労働者の日本選好における社会的要因	○石黒格（立教大学）・村本由紀子（東京大学大学院）・齋藤聖子（JICA緒方貞子平和開発研究所）
4	SSJDA Panel 対象者のメールアドレス登録に関する分析	○石田賢示（東京大学）・谷口沙恵（東京大学）・藤原翔（東京大学）
5	ムンバイ同時多発テロは日本人の排外的態度を高めたか：自然実験による検証	阪口祐介（関西大学）
6	大規模言語モデルは会話の「地平」を記述できるのか 一対話データの定量分析に向けてー	○飛松大騎（東京大学大学院）・瀧川裕貴（東京大学）
7	調整ゲーム経験が社会的ジレンマでの協力維持に与える影響：意思決定の数理モデル化を目指して	○成田達樹（青山学院大学）・水野景子（東北大学）・井上裕香子（安田女子大学）・清成透子（青山学院大学）
8	求人広告の適正賃金 Cultural Devaluation within occupations: A Supply-Side Analysis in Japan	○森川ゆり子（東京大学）・瀧川裕貴（東京大学）
9	社会的規範の形成と維持：大規模言語モデルを用いたシミュレーションによる解明	○呂沢宇（東北大学大学院）・王志超（東北大学大学院）・佐藤嘉倫（京都先端科学大学）・瀧川裕貴（東京大学）・小田中悠（京都先端科学大学）
10	Single Model BUT Multiple Mechanisms; Hybrid Modeling of Hidden Markov Models and Ordinary Differential Equations	○山口侑平（東北大学大学院）・小野佑理（関西学院大学大学院）
11	美術展覧会の分析を通じた芸術生産の経験的研究	山内信明（東京大学大学院/日本学術振興会）・○矢口晴彬（一橋大学大学院）
12	生徒の職業希望形成に対する親の働きかけの影響	山口哲司（東京大学大学院）
13	QGIS プラグイン版『聞き書きマップ』の一般公開バージョンの試作	原田豊（立正大学）
14	SSP2022 調査における Nonresponse の影響に関する多角的検討	○前田忠彦（データサイエンス共同利用基盤施設）・石橋拳（データサイエンス共同利用基盤施設）・高田洋（札幌学院大学）・小林大祐（金沢大学）

15	学校外教育の累積的効果：因果媒介分析を用いた検討	眞田英毅（武庫川女子大学）
16	新卒採用における書類選考出題項目は採用結果を変えるのか？	山口ゆり乃（東京大学大学院）

＊＊＊＊昼食休憩（60分）＊＊＊＊

14:00～15:40 萌芽的セッションII

【萌芽的セッションII】

H号館 1F
ラーニングコモンズ

1	The Protective Role of Children on Depression after Widowhood in Japan	○新田真悟（日本学術振興会／学習院大学）・俣野美咲（日本女子大学）
2	インターネットの利用と排外意識の計量分析	劉崢（東北大学）
3	社会的ジレンマにおける内集団ひいきとバイアス緩和に関する実験研究	門間晴風（東北大学大学院）
4	日本のメリトクラシーの変容	遠藤優太（京都大学）
5	所得分布生成の統合モデルの検証	○小野佑理（関西学院大学大学院）・石田淳（関西学院大学）
6	見かけ上の分断が眞の分断へ移行するメカニズム—エージェント・ベースド・シミュレーションを用いた検討—	○岩田和也（関西学院大学大学院）・清水裕士（関西学院大学）
7	非認知能力の向上は学力格差を縮小するのか—子どもの生活と学びに関する親子調査を利用した実証分析—	付郁（東北大学大学院）
8	計算論的現象学および自由エネルギー原理に基づく認知モデルを用いた信頼ゲームのシミュレーション	○坪山倫（東京大学大学院）・○後藤大毅（早稲田大学大学院）・瀧川裕貴（東京大学）・尾形哲也（早稲田大学・国立産業技術総合研究所）
9	有向非巡回グラフを用いた排外意識メカニズムの再検討—外国人の出身国を区別した分析—	田野裕雅（東北大学）
10	性規範の非対称性と年齢依存性	太郎丸博（京都大学）
11	集権罰制度の自生メカニズムの実験的検討	○小野さくら（北海道大学）・高橋伸幸（北海道大学）
12	E Income Inequality in Later Life: Gini Decomposition by Sources and Household Types in Chinese Elderly	楊葉（慶應義塾大学大学院）
13	ベーシックインカムの支給額の違いによる労働意欲の弹性変化	内藤晃史（東北大学大学院）

＊＊＊＊休憩（10分）＊＊＊＊

15:50～16:50 会長講演

社201教室

数理社会学会は何のために存在する（と考えるべきな）のか：

戦略会議体論の試み

数理社会学会会長 有田伸（東京大学）

* * * * 休憩（10分） * * * *

17:00～18:00 総会

社201教室

18:15～20:15 懇親会

関西学院会館

8月29日（金）

08:45 開場

09:00～10:40 自由報告III・萌芽的セッションIII

【第3部会】 労働・格差

社201教室

司会 福井康貴（名古屋大学）

1	職業威信における職業の権威的・科学的特性の影響：その評価者属性異質性と時代的変化	那須蘭太郎（東京大学大学院／日本学術振興会）
2	Cultural Devaluation within occupations: A Demand-Side Analysis in Japan	○森川ゆり子（東京大学）・瀧川裕貴（東京大学）
3	男女別賃金格差の正当化ロジックの国際比較： 4か国ビネット調査の結果から	○永吉希久子（東京大学）、吉田崇（静岡大学）・竹ノ下弘久（慶應義塾大学）・有田伸（東京大学）

【萌芽的セッションIII】

H号館 1F

ラーニングコモンズ

1	初等教育における課外活動参加の時系列的変容と階層的要因—マルチチャンネル系列分析と多項ロジットモデルによる検討—	○小西凌（三重大学）・鈴木健一郎（名古屋大学大学院）
2	東京の区部と郊外の都市への愛着や定住意向などの分析—鉄道沿線価値との関係分析に向けた予備的検討—	千葉真（東北大学大学院）
3	地域における研究実践の発展に向けた「地域協働学」の現状への基礎的検討—高知大学地域協働学部「地域協働実践・卒業研究」に着目した計量テキスト分析—	○湊邦生（高知大学）・松本明（高知大学）
4	「子どもの貧困」の問題構成と「支援に値する」とみなされる対象の分断：Yahoo!知恵袋における子ども食堂のQ&Aを対象としたBERTopicによる分析	○豊島伊織（京都大学大学院）・森坂太一（東北大学大学院）
5	日本における子どもの社会的排除の実態：相対的剥奪を用いて	後藤香織（東京大学大学院）
6	質的応答均衡と社会選好による移民の脅威に対する反応プロセスの解明	○柏原宗一郎（日本学術振興会/関西学院大学）・清水裕士（関西学院大学）
7	従業員の有無による自営業者の分類と参入における学歴差の趨勢	西尾知耀（東北大学大学院）
8	地域格差研究における地域概念の諸様相	小宮拓人（東京大学大学院）
9	地方圏における生活圏中心都市および県内中心都市へのアクセシビリティと地域人口動態の相関について	家高裕史（関西学院大学）
10	主観的・社会移動が経済的・成功の原因帰属に対する信念に与える影響	伊藤理史（京都産業大学）

11	夫婦間の性交渉頻度と離婚の関連性	石橋拳（社会データ構造化センター/統計数理研究所）
12	E How Health is Passed Down: Lifestyle Transmission and Intergenerational Health Associations in Japan	○Tomohiro Kitamura (National Institute of Population and Social Security Research / Keio University), Yusuke Tsukada (Aoyama Gakuin University), Hirohisa Takenoshita (Keio University)
13	健康上の理由による休職・離職の規定因: ウェブ調査データを用いた分析	神林博史（東北学院大学）
14	社会意識における測定変数の等価性	小川和孝（東北大学）
15	出身階級と「住む場所」の不平等に関する基礎分析	山本耕平（(公社) 国際経済労働研究所）

* * * * 休憩（10分）* * * *

10:50～12:30 萌芽的セッションIV

【萌芽的セッションIV】

H号館 1F

ラーニングコモンズ

1	高校教師の質問票調査回答傾向と attrition 問題について	○園田薰（慶應義塾大学）、野村駿（秋田大学）
2	世代内職業階層移動が壮年期の仕事における努力一報酬不均衡の評価に与える影響	鳥居勇氣（立教大学大学院）
3	日本の移民に関するパネル調査データの構築—東京都足立区在住の外国人住民を対象とする調査の事例から	石田賢示（東京大学）・○竹ノ下弘久（慶應義塾大学）
4	教育の公的支出と教育達成の不平等に関する研究	森坂太一（東北大学大学院）
5	共働き家庭の母親による「静かな」託児施設選好	○劉思良（大阪大学大学院）・太田裕一郎（大阪大学大学院）
6	コミックマーケット 30・40 周年記念アンケートの分析	毛塚和宏（九州大学）
7	教育機会の都道府県格差：合併データを用いて	平松誠（北海道大学）
8	日本における社会的信頼と移民の権利支持：構造方程式モデリングによる分析	梁光宇（京都大学大学院）

9	職業の性構成比とハラスメント経験の関連の基礎分析	池田岳大（立教大学）
10	日本における住宅市場の動向と女性の住宅所有	村上あかね（桃山学院大学）
11	情報探索の機会構造と行為者の主体性認知	内藤準（成蹊大学）
12	単語埋め込みモデルに対する次元削減による意味の軸の抽出および意味変化の検出	大谷康人（東京大学大学院）
13	Changing State Discourse and the Response of Online Nationalism: Evidence from the Fukushima Wastewater Controversy in China	裴啓恒（東北大学）
14	教育拡大と階級再生産： 日本における若年層の富の蓄積に関する実証分析	張佳潔（東京大学大学院）

* * * * 昼食休憩（60分）* * * *

13:30～15:10 自由報告IV・自由報告V

【第4部会】 理論・数理

社201教室

司会 小田中悠（京都先端科学大学）

1	ブルバキ構造主義の栄光と没落	落合仁司
2	社会的態度の学習モデル—ペイズ更新による学習—	○清水裕士（関西学院大学）・柏原宗一郎（日本学術振興会／関西学院大学）
3	リスク下での離散選択モデルの再検討	浜田宏（東北大学）
4	交流範囲の拡大がもたらす孤独： エージェント・ベース・シミュレーションによる分析	堀内史朗（阪南大学）

【第5部会】 教育・労働

社202教室

司会 阪口祐介（関西大学）

1	China Family Panel Studies による世帯主の違いが教育費に与える効果の推定	○佐々木洋介（新潟産業大学）・尹相芸（大阪経済法科大学）
2	親学歴による祖父母と孫の学歴の関連の仕方は時代によって変化するのか	石橋拳（社会データ構造化センター／統計数理研究所）
3	定員割れが私立大学経営に与える影響の実際—周辺構造モデルによる因果効果・交互作用・効果修飾の推定—	松宮慎治（信州大学）

15:10 閉会挨拶 大会委員長 渡邊勉

社201教室

（備考）

- 印は登壇者を示します。E は英語による報告です。The E symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- 大学敷地内は、全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。